

## 2学期のスタートです！子どもたちの元気な声が帰ってきました。

2学期がスタートしました。子どもたちは久しぶりの登校でしたが、元気よく「おはようございます」とあいさつすることができました。子ども達の声が学校に響き「あーっ、学校が始まったなあ」と思うと、子どもたちの成長が楽しみにになりました。また、子ども達との楽しい毎が始まります。

1学期は、子どもたちが、よく遊び、よく学んで充実した日々を過ごすことができました。多くのことに興味を持ち、目を輝かせて話に来る姿のかわいらしかったこと……。それに、困っている友達にいつも寄り添い、やさしさ溢れる毎日を過ごしてくれたことも大変嬉しいことでした。

2学期も、子ども達の成長を見守りながら、三岳小全職員で力を合わせながら頑張っていきます。保護者や地域の皆様にも、ご協力よろしくお願ひします。2学期も、頑張ります。

## 2学期のコロナウイルス感染症、最大限の危機感を持って感染防止に当たります

現在熊本県は、9月12日（日）まで、新型コロナウイルス感染蔓延防止等重点措置の適用中になります。8月18日の感染者の年齢分布を見てみると、10代以下の全ての年代に占める割合は21.4%となっており、大変心配される状況です。感染の「第5波」が急拡大する中での学校再開となります。これまでの感染予防を進めながら、最大限の危機感を持って、学校運営に当たっていきます。

また、ご家庭でも、新型コロナウイルス感染症から自分や家族、友人を守るために下記の内容について徹底をお願いします。本日配付しているプリントをよくお読みください。

### 1 登校前の対策

- 朝起きたら、登校前までに必ず検温して、「健康観察表」を記入する！
- 発熱、風邪症状、倦怠感、息苦しさ、味覚・嗅覚障がいがあれば、自宅で休養する！
- 県リスクレベルがレベル4以上の場合には、同居の家族に発熱等の風邪症状が見られる時は登校せずに自宅待機する！

### 2 学校生活での対策（2については、学校での対応ですが、参考までに記載しています。）

- 学校で体調不良となった場合は、我慢せず先生にすぐ知らせる！
- 校内では、休み時間を含め必ずマスクを着用する！（十分な身体的距離の確保、熱中症などの可能性が高い場合を除く）
- 授業中も、休み時間も、常に換気を行う！
- こまめに石けんで手洗いを行い、必要時にはアルコール消毒を行う！

### 3 その他の対策

- 帰宅したら、手洗いを行う！
- 運動、食事、十分な睡眠を取るなど、健康管理を心がける！
- 不要不急の外出を避け、特に人込みには出かける！
- 登下校中のマスクの着用を行う。また、登下校中の飲食は控える！（マスク着用については、十分な身体的距離の確保、熱中症などの可能性が高い場合を除く）

■発熱等の症状がある場合、次の相談先に電話し、必要に応じて医療機関を受診してください。受診後は検査結果を学校にお知らせください。

- (1) かかりつけ医等の身近な医療機関に電話で相談する。
- (2) 相談する医療機関が分からない場合は、発熱患者専用ダイヤル 0570-096-567 に相談する。

## 三岳小学校に新しい先生が来られました「開田健太先生」です

昨年度から教職員一人欠員の状態が続き、教務主任も学級担任という状態で、これまで大変厳しい学校経営状況でした。しかし、8月からやっと三岳小にも新しい先生が来ていただけることになりました。「開田健太先生」です。若杉先生と一緒に、やまびこ2組を担当していただきます。しかし、やまびこ2組だけでなく、交流学級で授業がある時や全校で活動するときなど、多くの子どもたちに関わっていただく事になります。子どもたちもきっと喜ぶと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

開田健太（ひらきだけんた）です。24歳です。1学期は山鹿小学校で働いていました。好きな食べ物はお寿司で好きなスポーツはサッカーです。趣味は旅行と写真を撮ることです。東南アジアを中心にいろんな国に行ってきたので子どもたちに見せたいと思います。また、行事等では子どもたちの頑張る姿を写真に撮りたいと思います。インドネシアに住んでいたことがあるのでインドネシア語が少し話せます。三岳小学校の子どもたちと楽しく勉強したり、遊んだりしたいと思います。よろしくお願いいたします。



## 山鹿アート展に向けて黒板アートに取り組みました

下田さんのご指導を受けながら、6年生の有志が黒板アートに取り組みました。「子どもたちが少しでもアートに興味を持ってくれたら」と下田さんはおっしゃいます。3日間もご指導していただき、最終日には、熊日新聞社からインタビューにも来ていただきました。この作品



は写真となって、鶴城中学校で行われる山鹿アート展で展示される予定です。本日下午学年にも見てもらいました。本当に良い経験をさせていただきました。下田様には、感謝の気持ちで一杯です。

## 東京五輪オリンピック、たくさんの感動をもらいました！

コロナ禍の中1年延期となり、直前に無観客での開催が決定されるなど、日々対応・協議を余儀なくされ、多くの困難を抱えた中で始まったオリンピック大会でした。しかし、競技が始まると連日の選手の活躍に感動し、テレビに釘付けとなり、心から声援を送る毎日でした。柔道では、連日のように男女で金メダルを獲得、卓球では、混合ダブルスで金メダルを獲得、女子ソフトボールでは、13年ぶりの競技の実施、そして金メダルを獲得、何というモチベーションの高さなのでしょう等々、そのすばらしい活躍ぶりに、自分が優勝したかのように跳び上がって喜んでいました。優勝という目標に向かって努力する姿の美しさを見せていただきました。たとえ、その目標に届かずとも、選手のこれまでの努力がいかほどであったのか、自分にはとうてい想像もできませんが、思いをはせると、ただただ選手の皆さんに拍手を送り続けていました。

また、今回のオリンピックでは、若い選手のメダル獲得にも驚かされました。しかも、競技を楽しんでいること、その競技の普及を願っていること、そして、どの選手からも大会関係者等への感謝の言葉が聞こえてくること、若い選手の皆さんですが、人としての心の美しさに、本当にすがすがしい気持ちになりました。心が育っているからこそ、世界の中でチャレンジできるのだと思いました。

あっという間の17日間でした。県出身者の活躍では、野球の村上選手が見事に金メダルを獲得、バドミントン選手陣は、メダル獲得とはいきませんでした。最後まで頑張る姿を見せてくれました。三岳小学校の66人の児童も、このオリンピックから多くのことを見て学んだ事だと思います。このオリンピックの選手の皆さんのように、新しい自分への挑戦の2学期となるよう励ましていきたいと思っています。パラリンピックも楽しみです。

